

知事談話
(前氷見市長 林正之氏の訃報に接して)

令和 7 年 6 月 9 日
富山県知事 新田 八朗

林正之さんの訃報に接し、心から哀悼の意を表します。

林さんは、県の土木技術職員として入庁されて以来、都市計画課長や道路課長、土木部長などの要職を歴任され、まちづくりや社会資本整備、災害対応等に取り組まれ、本県の発展に力を尽くしていただきました。

平成 29 年に氷見市長に就任されてからは、芸術文化館の整備や市民との対話など、市民の幸せと氷見市の発展のため、強い情熱をもって市政運営に尽くされました。私も知事に就任して以来、「ワンチームとやま」連携推進本部などの機会に幾度も議論を交わし、多くの課題に林さんと共に取り組んでまいりました。

昨年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震では、被災された市民の 1 日も早い生活の再建、復興のため、生活インフラの復旧や液状化対策などに、昼夜を分かたず陣頭指揮を執られていた姿が、今も鮮明に思い出されます。

ここに、生前のご業績に対し、県民を代表して深く敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。県としては、林さんのご

遺志を受け継ぎ、氷見市をはじめとする市町村の皆さんと手を携えて、
能登半島地震からの復旧・復興に引き続き全力で取り組んでまいります。